

Mercedes-Benz メルセデス・ベンツ

W113

2代目
SLクラス

W113のステキPoint!

趣味性の高さこそがW113の魅力だ。その最大のポイントとなっているのが流麗で上品なスタイリング。現代のクルマとは全く異なる雰囲気を持ち、さらにトップを開けて走ればオープンモデルならではの開放感を味わえる。「計器」という感じに並べられたメーター類、ホーンリング付きの細みのステアリングなど、どれも見ても実に味わい深い。また、2座+横向き1座という独特なシートレイアウトを持つモデルが存在するのも個性的だ。エンジンは燃料噴射装置が付いた直列6気筒を搭載。通勤で使うユーザーがいるくらい日常的に使える走行性能を持っているところは、さすがメルセデスだ。



現代仕様の高性能パーツを活用

快調のPoint!

コンディションが良い個体を購入すればエンジンやATなどはオーバーホールされているはずだが、乗り放しで定期的なメンテがされていないクルマはエンジン不調などを抱えているケースが多い。レストアが必要な年式のクルマなので、ある程度は整備されてきていると思うが、それでも半年に一度は専門ショップでクルマ全体の点検を行なう必要がある。それだけでも格段に信頼性は高まるはずだし、次回以降のメンテナンスプランも立てやすい。

タテ目世代に共通する弱点は空調関係。W113はほとんどのクルマがヒーターコアの交換時期を迎えている。また、エアコン付きのAT車はエンジンルームが狭く熱がこもりやすいため、エンジン回りの熱対策が必要となる。機械式のインジェクションシステムも交換が必要だ。このパーツは非常に高価なのがネックだが、専門ショップでは海外からの

機械式インジェクションシステムはとて高価!



「機械」という雰囲気が伝わってくるエンジンルーム。快調に走るためには技術と経験があるメカニックの力が必要だ。

Topics R20 メンテナンス GERMANCARS MAINTENANCE

高い冷却性能を持つアルミ製ラジエター



エンジンの調子を整えるためには良い冷却が必要なのは言うまでもない。そこで紹介したいのがオールアルミ製の大容量ラジエター。冷却

性能を高めているだけでなく、溶接によりパッキンからの水漏れがしないよう工夫されているのが嬉しい。電気系の要であるオルタネーターも発電量をアップしたものが発売されている。現代的に乗るためにはどちらも検討したいパーツである。

■問い合わせ=セントラルオート TEL.03-3883-9922

パーツルトを持つことが多いので相談してみるといいだろう。安全に走るためにはブレーキ関係もリフレッシュしておきたい。キャリパーのオーバーホール、マスタースリッダ、ホース関係も交換しておきたいところ。

ので、社外品をうまく活用するとその効果は高い。純正だと6枚の羽を持つ冷却ファンを9枚のファンに替えるのも有効な手段だ。性能的にも現代の環境にマッチしているので二鳥といったところだ。

純正にこだわらずに社外品などを活用していくのも、この時代のクルマを快適に走らせるためのコツだ。オルタネーターやラジエター、マフラーなど純正だと驚くような価格な

外装関係ではハードトップとボディの間からの雨漏りが多い。ウエザーストリップなどが劣化しているのが主な原因なので、この際一気に新品交換しておいたほうが、サビの発生を抑制することができる。



機械式のインジェクターポンプは非常に高価。長く乗るためには交換が必要なパーツなので、専門ショップに相談してみよう。



快調に走るためにはエンジンだけでなくATのメンテナンスも必要。ベルハウジング、本体リアケースの3つに分割されているのが特徴だ。